ある殺し屋（1967）

メディア 映画
ジャンル サスペンス　アクション
製作国　日本
色彩　Color
時間　82分
初公開日 1967/04/29

【解説】
　藤原審爾の原作『前夜』を映画化。市川雷蔵がクールな殺し屋を演じ、続編「ある殺し屋の鍵」も制作された。一杯飲み屋“菊の家”の店主・塩沢は、どんな困難な殺人も針一本でやってのける殺し屋だった。ある日、無銭飲食でつかまりそうになった圭子を助けたことから、彼女は塩沢の店に住み込みで働き始める。暴力団の木村組から、敵対する組織のボス殺しを依頼された塩沢は、二千万円でその仕事を引き受け、見事に仕事を成功させた。塩沢の仕事ぶりに惚れ込んだ木村組幹部の前田は、塩沢に弟子入りを頼むが断られてしまう。

【クレジット】
監督　森一生
企画　藤井浩明
原作　藤原審爾
脚本　増村保造
　　石松愛弘
撮影　宮川一夫
美術　太田誠一
音楽　鏑木創
出演　市川雷蔵
　　野川由美子
　　成田三樹夫
　　渚まゆみ
　　千波丈太郎
　　松下達夫
　　小林幸子
　　小池朝雄
　　伊達三郎
　　浜田雄史
　　橋本力
　　堀北幸夫
　　越川一
　　黒木現
　　伴勇太郎
　　岡島艶子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.